



学科・専攻	電子・情報工学	学籍番号	1815070	氏名	武藤 克弥
題目	発想支援システムの <i>Blockly</i> 化 & 共起グラフの応用				

## 報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A: ツイッター側のブロック実装 B: 共起グラフの応用例を調査して卒業研究に生かせそうな部分を探す
	取組内容 (D)	A-1: ランク付けブロックでの入力ファイル未処理で出力される問題の解決 A-2: Json ファイル作成ブロックの実装 A-3: 残りのブロックの実装 B: 共起グラフの応用例調査
	課題整理 (C)	A-1: 出力用データフレーム内の要素の型が異なることが原因だと分かった A-2: ファイルを複数入力すると、入力ブロックのプログラム部分でエラーが発生する問題が生じた B: グラフ構造を学習する疎構造学習があることが分かった
	改善方策 (A)	A-2: 複数入力専用のブロックを作る B: 疎構造学習を用いると仮定して、どのようなグラフ構造が適用できそうか考察する

## 報告日

やりたいことより、やるべきことを	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	<p>【研究テーマ: 何の共起グラフを表示させ、分析するか→作成した共起グラフの最適化】</p> <p>やること1: 出てきたグラフ(ネットワーク)を最適化する手法をいろいろ調べる →マルチエージェント等</p> <p>やること2: どんなことにグラフ可視化&amp;最適化を適用するか考える (ある社会問題をグラフに可視化することを考え、ある手法を用いてグラフを最適化することで、その問題に対する知見を見い出す) →どういう目的を持って、最適化するのはグラフ最適化手法をもっと調べてから</p> <p>○ <i>Blockly</i> 側ではグラフを表示させるブロックを応用し、OD ペアなどの情報が載った JSON ファイルさえ作成できれば、スクレイピングに以外の方法でもノードを形成できるはず?</p> <p>○ <i>Python</i> でグラフ最適化のプログラム作成し cgi のブロックにする</p>